

令和元年度 男女共同参画行動計画事業ヒアリングアンケート結果一覧

ヒアリングを行ってみたい事業

No	項目番号	担当課	項目又は事業名	聞いてみたいこと
1	1	戦略推進課 商工課	2 クラウドソーシングの推進	<p>・安心して働くことができる「クラウドソーシング」とありますが、具体的にはどのような仕事をお願いしているのですか。定期的に一定収入(生活費)を確保できる仕事量があるもので運用しているのでしょうか。今現在登録43名はどのような方でしょうか。</p> <p>・「島田型クラウドソーシング」の特徴、島田市ならではの強み、子育て中の女性やアクティブシニアへの広め方や続けていくための具体的なサポートがあれば教えてください。</p>
2	4	健康づくり課 子育て応援課	子育て支援事業の充実 5 子育て世代包括支援センターの運営	<p>幼児虐待のニュースを耳にする度に心を痛めます。支援センター事業は市内にたくさんあり、相談件数も多いようですが、支援センターにも行けず、一人で悶々と育児をしているお母さんが心配です。個人情報保護法が壁になり、なかなか民間の支援団体は踏み込めない状況にあります。行政と組んでやれば、このような家庭にも手を差し伸べることができるかと思うのですが、そのような施策はあるのでしょうか。</p> <p>子育て世代包括支援センターの運営について、相談件数ではなく、他機関との連携率や満足度での評価はできないのでしょうか。</p>
3	4	社会教育課	8 家庭教育支援事業	<p>・全小学校で実施されている「親学講座」の内容が大変気になります。男女共同参画の趣旨に即したものがどうか検討したいので、ぜひその具体的な内容、テキスト等をご教示ください。</p>
4	5	保育支援課 子育て応援課	保育事業の充実 9 保育事業(量と質の確保)児童健全育成事業	<p>リバティ子どもクリニックで島田市で初めて病児保育園を建てる計画があると聞いています。しかし、行政からの支援が受けられるかはっきりしないようですが、働く保護者にとっては継続就労支援としてとても大切なことだと思いますが、行政の考えをお聞きたい。</p> <p>・他市に先んじなければ、若い夫婦に選ばれない。4月1日に0人が、1月1日に51人になった待機児童数を予測できなかったことが重大である。毎年の出生数、共働き、妻、女性の就労率等のデータ、傾向から「0で安心」ではなく、どれだけ余裕を作れ、島田市へ呼び込むことができるかが、大切である。どのように把握しているか。</p> <p>・幼稚園部局と認定こども園について、どこまで議論が進んでいるか。市民の要望をどう把握しているか。</p> <p>・病児保育施設は多数必要と思うが、どこにどんな体制でつくり、増やしていく考えか。</p>
5	6、7	人事課 市民協働課	11、12 育児休業制度の周知、利用の啓発 市職員における育児休業制度の利用促進	<p>市役所内での推進、周知の徹底、取得しやすい職場環境づくりや、実践してみても問題点の洗い出し(なぜ増えないのか)、それをまとめて各企業への介入を行っていくのはどうでしょうか。また取得しやすい職場づくりとは具体的に何をを行いますか。</p>
6	46	教育総務課	65 要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金	<p>・693人は何%か。援助費に市単独の上乗せ予算はあるのか。充分に行き渡っているか疑問がある。</p> <p>・民生児童委員の認定における役割は大きいですが、協力体制の状況は。(私の近くの民生委員と話す「知らない」と数人に言われた)</p>
7	39	市民協働課	51 女性に対する暴力をなくす運動期間に合わせて啓発	<p>「広報紙やホームページに掲載」とありますが、ホームページはその目的を持った人が自分から掲載記事を掴みにいくものなので、紙面や街頭告知よりも啓発効果が薄くならないでしょうか。Yahooやgoogleのトップページのように、島田市役所ページを起動時のトップ画面としている個人・企業はほほいらないと思います。</p>